別記様式（第２条関係）

会　議　結　果　報　告　書

令和３年９月１７日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会（令和３年度第４回）
開 催 日 時	令和３年９月１７日（金）１３時１５分～１３時５０分
開 催 場 所	志木市役所　第３庁舎　庁議室
出席者委員	【検討委員会メンバー】（※進行者） 委員長：香川市長(※) 副委員長：櫻井副市長、柚木教育長 委員：尾﨑総合行政部長、川幡総務部長、村山市民生活部長、村上福祉部長、大熊子ども・健康部長、中森都市整備部長、松永市長公室長、豊島会計管理者、渋谷上下水道部長、大河内議会事務局長、北村教育政策部長　（計１４人）
欠席者職氏名	（計　０人）
説明員職氏名	平間公共施設マネジメント推進室主査 川幡総務部長 （計　２人）
議　　題	志木市民会館及び志木市民体育館の再整備について
結　　果	志木市民会館及び志木市民体育館の再整備について報告を行った。
事務局職員職氏名	浅見公共施設マネジメント推進室長、松田公共施設マネジメント推進室副室長、吉田公共施設マネジメント推進室主幹、平間公共施設マネジメント推進室主査、外立秘書政策課長、松井市民活動推進課長、土崎生涯学習課長
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

１　開会

委員長が会議の開会を告げる。

２　審議事項　（検討委員会メンバーは委員と表記する。）

・平間公共施設マネジメント推進室主査より、「志木市民会館及び志木市民体育館の再整備」について概要を説明後、質疑応答を行った。

〇概要説明

前回の本検討委員会の後、議員説明会を行い、令和３年８月に基本計画を策定したので、報告する。

また、基本計画の中で、市民会館及び市民体育館が有している会議室については、民間施設の活用を検討するとしており、その検討結果について報告する。

検討結果としては、複合施設建設期間中のみ、市民会館の会議室の代替施設として、フォーシーズンズ志木８階を一時的に活用し、複合施設供用開始後は、借用部分は返却し、複合施設の中に３連合の機能も備えた多目的室を設置したい。

検討の経緯としては、立地条件や施設の面積から勘案し、フォーシーズンズ志木８階を活用することが適切であると判断した。

また、当初は、フォーシーズンズ志木８階に会議室を常設し、複合施設建設に係る事業費の縮減を図ることを検討していたが、フォーシーズンズ志木８階の賃料が市財政に大きな影響を与えることから、複合施設建設期間中のみ仮設会議室として使用することが適当であると判断した。

よって、概算事業費については、基本計画に記載のとおり、６４．１億円であるが、令和２年度に概算で算出した事業費であるため、今後の建設市場動向の変化などにより変動する可能性がある。なお、建設規模については、１０，０００㎡以内とし、駐車場を含めても、現在の両施設合計である約１１，４００㎡以内とする。

また、複合施設建設におけるスケジュール案としては、令和３年１０月に設計候補者募集を開始し、１２月に設計者を決定する予定である。その後、令和４年１月から４年度にかけて基本設計を実施し、令和４年度の途中から令和５年度にかけて実施設計、令和５年度中に現市民会館を除却し、令和６～７年度にかけて複合施設の建設工事を行い、令和８年度に供用を開始する予定である。

委　員：現状の施設以内とはどのようなことか。

事務局：駐車場を屋内に設置する場合においても、現状の施設面積以内にするということである。

委　員：地下は使用するのか。

事務局：今後の設計次第である。
委　員：面積が減ると事業費は変わるのか。
事務局：費用の想定は３連合を複合施設の中に設置することを前提に算出していたので、事業費に変更はない。

・川幡総務部長より、「庁舎並びに市民会館及び市民体育館再整備に伴う財政への影響」について説明を行った。
〇概要説明
　令和３年度以降における庁舎建設事業と市民会館・市民体育館再整備事業に係る事業費について推計を行った結果、交付税措置等の財源確保を行うことにより、財政的には対応可能であると判断している。

【質疑なし】

３　閉会
　委員長が会議の閉会を告げる。

備考　会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。